

水 大 気 第 180 号
令和 4 年 7 月 27 日

戸 沢 村 長 殿

山形県知事 吉村 美栄子

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書等について（通知）

標記報告書等について、別添のとおり所見を付して環境大臣あて報告しましたので
通知します。

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
戸沢村	戸沢村	平成 28 年度～令和 2 年度	平成 28 年度～令和 2 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目標※ 2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成26年度)	目 標 平成33(令和3)年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績/目標※ 3	
総人口	5021	4377	4138	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	502	540	437	0.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	10.0 %	12.3 %	10.6 %	26.1%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	1513	1832	1363	0.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	30.1 %	41.9 %	32.9 %	23.7 %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	1005	1177	964	0.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	20.0 %	26.9 %	23.3 %	47.8%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	2001	828	1374	53.5%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの		戸沢村合併処理浄化槽設置整備事業	戸沢村	浄化槽設置整備事業と合わせて、国・県の補助を仰ぎつつ水洗化率の向上を目論んでいる。毎年5人槽5基程度の設置を目標として予算の確保、事業の展開を実施している。	平成28年度 ～ 令和2年度	補助実績 平成28年度 4基 平成29年度 4基 平成30年度 6基 令和元年度 4基 令和2年度 3基 計 21基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

- ・汚水衛生処理率については、目標 平成33年度(令和3年度)漸増ではあるものの、伸び率としては、低調に推移している。合併処理浄化槽にあっては、目標達成には至っていないが、3.3%増加させることができた。今後についても、引き続き村のホームページ、広報誌等を活用し、補助制度の普及啓発に努め、取り組みを強化して行きたい。

(都道府県知事の所見)

生活排水処理にかかる全ての項目について、目標が達成されていない。
浄化槽の整備については、整備基数が計画基数を下回っているため、整備促進に向けた周知活動等の働きかけを図られたい。
引き続き着実な整備を進め、汚水衛生処理率の向上に努めていただきたい。

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
戸沢村	戸沢村	平成 28 年度~令和 2 年度	平成 28 年度~令和 2 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 26 年度)	目 標 (令和 3 年度) A	実 績 (令和 3 年度) B	実績 /目標
総人口	5021	4377	4138	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	540	437	0.0 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	10.0 %	12.3 %	10.6 % 26.1 %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	1832	1363	0.0 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	30.1 %	41.9 %	32.9 % 23.7 %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	1177	964	0.0 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	20.0 %	26.9 %	23.3 % 47.8 %
未処理人口	汚水衛生未処理人口	828	1374	53.5 %

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

計画としては、5人槽5基/年を平成28年から令和2年度までの25基の設置目標であったわけだが、設置基数の実績としては、21基となっている。すべからく5人槽に限らず7人槽の設置もあり、潜在的な処理能力としては、ある意味目標に到達しているといえることもできるかと思われる。

しかしながら、目標達成を目論み、計画を縮小する考え等もなく、今後も年間5基ペースの設置を目指して事業に取り組みたいと考える。

所謂、社会情勢や経済活動、景気の動向等とも強く関連し、社会的人口流出或いは高齢化影響下にあり、取分け、老老世帯等にあつては、快適な水洗化を選択する余地もなく、自治体として、水洗化の普及啓発は実施するとしても、設置を強要せしむるものでもなく現状維持を是とし、粘り強く事業展開して行かざるを得ないと考える。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和8年度まで

今後についても、継続的に村ホームページ、広報誌を活用しながら、補助制度の紹介や設置整備の普及啓発に努める。

また、住宅リフォーム担当とも密に連携し、新築・改築の際には浄化槽の設置・転換等推奨推進を図って行く。

(都道府県知事の所見)

合併処理浄化槽の整備については、高齢化等の社会情勢により、個人負担が大きいことが課題の一つとなっている。

今後は、未整備世帯への個別訪問などにより整備意欲を高める働きかけを実施するとともに、補助事業の一層の周知・活用を図り、汚水衛生処理率の向上に努めていただきたい。